

## ○ 2024年問題概要

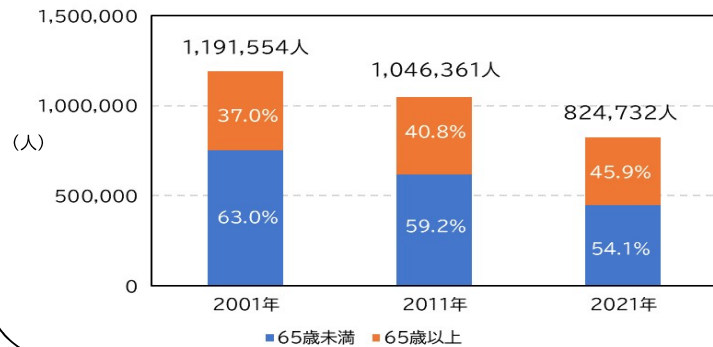
### 1 バス運転手不足の現状

路線バスを運転するためには大型二種免許が必要ですが、近年、その保有者数が大幅に減少しています。

【図1】のとおり、2001年の保有者数1,191,554人に対し、2021年は824,732人と、7割以下にまで減少しています。

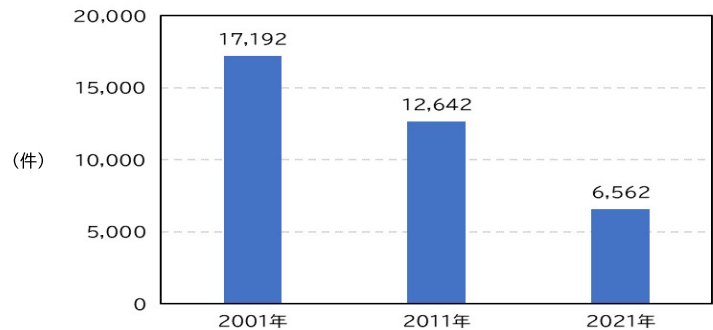
また、保有者の高齢化も進んでおり、65歳以上の割合が、2001年では37.0%だったのに対し、2021年は45.9%と、20年間で約9%上昇しています。

【図1】大型二種免許保有者数と65歳以上の割合「運転免許統計より」



また、【図2】のとおり、大型二種免許の交付件数も、2001年では年間17,192件あったものが、2021年では6,562件と、大幅に減少しています。

【図2】大型二種免許交付件数の推移「運転免許統計より」



### 2 2024年問題について

近年話題となっている「2024年問題」とは、【図3】のとおり「働き方改革関連法」による「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が、同年4月1日から運輸サービスに対して、適用されることにより生じる問題の総称のことです。

【図3】自動車運転者の労働時間等の改善のための基準「厚生労働省HPより」

長時間労働・過重労働の実態にある自動車運転者の健康確保等の観点から、見直しを行うもの。

|         | 現行  | 見直し後  |
|---------|---|---|
| 1年の拘束時間 | <b>3,380時間</b>  | 原則： <b>3,300時間</b>  |
| 4週平均1週  | 【4週平均1週間】<br>原則： <b>65時間</b> (月換算：281時間)<br>最大： <b>71.5時間</b> (月換算：309時間) | 【1か月の拘束時間】<br>原則： <b>281時間</b><br>最大： <b>294時間</b><br>※281時間を超える月が4か月を超えて連続しないこと。<br>※4週平均1週の拘束時間も同水準で存置。1か月と選択可。 |
| 1日の休息期間 | <b>継続8時間</b>  | <b>継続11時間を基本とし、9時間下限</b>  |

※バス事業者の場合

- ・拘束時間…使用者に拘束されている時間のこと。（「労働時間」+「休憩時間」）  
（会社へ入社（始業）し、仕事を終えて会社から退社（終業）するまでの時間）
- ・休息期間…使用者の拘束を受けない期間のこと。（業務終了時刻から、次の始業時刻までの時間）

1の状況下により、バス事業者は、慢性的に人手不足であり、最低限の人員で辛うじて運行を維持しているところ、さらに2の問題により、勤務時間の上限が1時間短縮されると、バスの路線やダイヤにも影響を及ぼします。

運転手不足による今後の影響や、乗降調査の結果、市民からの要望を踏まえ、令和2年3月に策定した再編計画の方針に基づき、今後、ルート及びダイヤの見直しを検討する必要があります。

【参考資料：公共交通トリセツ】